

第61回  
気仙沼みなとまつり

報告書

開催日：平成24年8月11日（土）  
8月12日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

## 1. 開催にむけての経緯（主催団体長会議・企画部会活動）

(1) 平成23年8月に開催された「港・けせんぬま復活祭」の報告会として、同年12月に行われた気仙沼みなとまつり委員会の主催団体長会議におきまして、平成24年に第61回気仙沼みなとまつりが復活開催されることが決定されました。

海と生きる気仙沼の復興と私たち市民の元気を発信し、更なる復興に向けて市民の一体感を作り上げていくイベントとして、気仙沼みなとまつりの復活が望まれているとの声が大きくなりつつあったからでした。

(2) 平成23年12月以降、大会会長および実行委員長ほか関係者により第61回気仙沼みなとまつりの案が練られ、今年3月に行われた企画部会第1回会議の席上で、大まかな内容が以下の通り提案されました。

8月11日（土） LIGHT UP NIPPON 打上花火大会（内湾海上）

8月12日（日） 街頭パレード・はまらいんや踊り（田中前大通り）

同じ会議において、海上うんづらの復活についても要望として提案されました。以後、第61回気仙沼みなとまつりの実施内容などについては、企画部会にて話し合いが進められました。

(3) 企画部会において、第61回気仙沼みなとまつりの実施内容などを検討し続け、4月の主催団体長会議では骨子などを、7月の主催団体長会議では実施内容の詳細を諮りました。

なお、企画部会については、みなとまつり実施までの間に15回、会議を重ねてまいりました。

7月の主催団体長会議に諮った実施内容については下記のとおりです。

8月11日（土）

○「海上うんづら」停船演技

（内湾岸壁接岸）18:30 ～19:00

○ LIGHT UP NIPPON～鎮魂と復興の花火大会～被災地一斉打ち上げ

（内湾） 19:00 ～19:05

○ LIGHT UP NIPPON～鎮魂と復興の花火大会～第二部

(内湾) 19:20 ～19:45

○「海上うんづら」内湾運航

(内湾) 19:20 ～19:45

○「灯籠流し」

(内湾) 19:45 ～20:30

8月12日(日)

□昼の部

○「オープニングセレモニー」

(田中前大通り・北日本銀行駐車場) 14:30 ～15:00

○街頭パレード

(田中前大通り・パレードコース約670m) 15:00 ～16:30

□夜の部

○「はまらいんや踊り」

(田中前大通り) 17:30 ～20:00

協賛行事

■8月11日(土)

☆ LIGHT UP NIPPON スーパー縁日@気仙沼小学校

(気仙沼小学校グラウンド) 12:00 ～19:00

☆ 気仙沼復興商店街南町紫市場夏祭り(第3弾)

(南町紫市場特設会場及び cadocco) 11:00 ～19:00

(4) 実施内容の縮小 : 南町海岸エースポート周辺および港町出漁岸壁界隈が完全復旧に至っていないため、従来の海上行事の完全実施は難しい状況にありました。海の道での「出店」と海上行事昼の部(カッター競漕など)については、現状のままでは海中への転落の危険が高いため、来場者や参加者の安全を第一に考えて、今回は実施を見送ることとなりました。

打ちばやし大競演については、搬入・搬出のための車両の通路および駐車場の確保が見込めないため、今回は実施を見送ることとなりました。

(5) 会場の変更 : 同じく、南町海岸エースポート周辺および港町出漁岸壁界限が完全復旧に至っていないため、安全な運行が難しいことから、オープニングセレモニー、街頭パレード、はまらいんや踊りは、会場を田中前大通りに変えて、実施することとなりました。

交通混雑を発生させない為の交通規制の相談を警察当局とすすめ、会場周辺の住民の皆様や事業所の皆様のご理解とご協力をいただきながら、田中前大通り会場でのまつり行事実施にこぎつけました。

## 2. みなとまつり委員会内の各部会・委員会の準備活動について

**総務部会** : 各部会の連絡・調整にあたりました。海上規制や交通規制のための関係当局との調整にもあたりました。

**広報部会** : まつりチラシの作成・配付、まつりポスターの作成、メディアへの対応にあたりました。

なお、今回のポスターデザインについては、LIGHT UP NIPPON 実行委員会からご協力をいただきました。

**警備部会** : 交通規制実施に向けての関係当局との調整にあたりました。まつりに係る事故防止に向けて、防犯、交通指導、消防などに関する市民団体との連絡・調整にあたりました。

**大口協賛基金募金委員会** : 大口協賛金などの集金、街頭募金の実施、まつり募金箱の設置・回収のための準備と会議を実施しました。

## 3. まつり行事内容について

<8月11日(土)>

### (1) 「海上うんづら」

午後6時30分から内湾岸壁に接岸し、停船演技が実施されました。

2年ぶりに復活した気仙沼みなとまつりの最初の行事であり、停船場所周辺には多くの観客が集まりました。みなとまつり復活への関心と期待の高さがうかがえました。

午後7時30分からは内湾海上を周回しながらの運航演技に入りました。

花火の光に包まれながら、海上うんづらがこれまでのみなとまつりと同じく、内湾をまわり続けました。2年分の心意気をこめた勇壮な太鼓の音が港いっぱい、そして見る人の胸の中に響き渡りました。

### (2) LIGHT UP NIPPON ～鎮魂と復興の花火大会～

午後7時ちょうどから5分間、赤とんぼのピアノ演奏をBGMに被災地一斉打ち上げ

が行われました。最初の打ち上げ花火が広がった瞬間、内湾地区全体から歓声が上がり  
ました。

打ち上げ場所を昨年の大川河口から従来の湾奥海上に変更したことで、大きくそして  
迫力のある打ち上げ花火となりました。

午後 7 時 30 分からの第二部では、海上うんづらとの競演により、港の街気仙沼ら  
しい花火となりました。

### (3) 灯籠流し

立正佼成会石巻教会気仙沼支部様のご協力により、事前に集められた灯籠と当日午  
後 4 時から受付を行って寄せられた灯籠が、打ち上げ花火と海上うんづらの終了後、  
午後 8 時ごろから内湾に浮かべられました。

内湾いっぱい優しいオレンジ色の灯りがたどよい、鎮魂のイベントをしめくくる  
にふさわしい光景となりました。

<8月12日(日)>

### (4) オープニングセレモニー

オープニングセレモニーに先立って午後 2 時 15 分からオリンピックロンドン大会  
報告会が行われました。フェンシング競技男子フルーレ団体で銀メダルを獲得した日本  
代表チームの千田健太選手、太田雄貴選手、三宅諒選手、淡路卓選手と女子フルーレで  
入賞した菅原智恵子選手が出席し、オリンピックでの活躍が報告されました。千田選手、  
菅原選手が気仙沼市出身であること、オリンピックのメダリストが帰国直後、真っ先に  
気仙沼を訪れたことで、会場には多くの市民が詰めかけました。

報告会の熱気が冷めやらない中、(社)気仙沼青年会議所メンバーによる「銀鱗太鼓」  
の演奏でオープニングセレモニーが始まり、大会会長である菅原茂市長、インドネシア  
共和国ムハンマド・ルトフィー駐日大使の挨拶、来賓紹介のあと、街頭パレード出発式  
へと進んで行きました。

### (5) 街頭パレード

オープニングセレモニーの会場から大会会長、来賓、関係役員がパレードコースのス  
タート地点へ移動し、臼井実行委員長の掛け声と気仙沼市民吹奏楽団のファンファーレ  
を合図にテープカットが行われ、午後 3 時すぎに街頭パレードが開始されました。

田中前大通りのモスバーガー付近から朝日生命付近まで、途中停止演技を織り交ぜな  
がら、街頭パレードが行われました。

先導には、オリンピック選手 5 名が乗り込み、これに全国高校総体のフェンシング  
競技で準優勝に輝いた宮城県気仙沼高等学校女子フェンシング部のメンバーを乗せた  
車両が続き、以下、参加団体がそれぞれの間合いで続きました。オリンピック選手とイ

ンターハイ準優勝の凱旋とあって、沿道からは多くの市民から祝福の声が送られました。

従来までのみなとまつりに参加していた団体に加えて、震災後にはじめてのみなとまつり街頭パレードとあって、陸上自衛隊東北方面隊音楽隊、米国海兵隊第 3 遠征軍音楽隊など、震災当時、気仙沼の救援に駆け付けた方々もご参加いただきました。こちらにも多くの感謝の声援が寄せられました。

既存の参加団体の中では、気仙沼商工会議所青年部がバリパレードを発展させ、インドネシアパレードとして参加しました。ボランティアの方やインドネシアにゆかりの深い方など多くの方々の協力によって、華やかなパレードとなりました。

なお、報告会、オープニングセレモニー、出発式、参加団体紹介などの司会は、地元出身のフリーアナウンサー岩手佳代子さんと気仙沼商工会議所青年部の担当者が務めました。

(参加 14 団体、約 800 名)

#### (6) はまらいんや踊り

街頭パレードの終了後、当初の開始予定時間（午後 5 時 30 分）通り、はまらいんや踊りが始まりました。2 年ぶりのはまらいんや踊りには、市内の学校、サークル、事業所から参加者が集まったほか、この日のために帰省してきた気仙沼市出身者、そして、震災直後から気仙沼のためにボランティア作業に駆けつけて下さった方々など多くの人々によって、盛り上げていただきました。

はまらいんや踊りの曲は、これまでと同じく気仙沼市出身バイソン片山氏が率いるバイソンバンドにご担当いただきました。また、気仙沼市内の打ちばやし団体が踊りコースの交差点ごとに太鼓を設置して演奏し、はまらいんや踊りを盛り上げてくれました。

街頭パレードにご参加いただいた米軍海兵隊の皆様もはまらいんや踊りと太鼓演奏に飛び入りで参加してくださいました。踊りの休憩時間には、本場のジャズ演奏を披露し、はまらいんや踊りの曲にもアドリブでセッションしていただくなど、花を添えていただきました。

気仙沼市民の元気な姿とこれまでの支援に対する感謝を多くの人々に伝えられた、はまらいんや踊りとなりました。

(参加 53 団体、約 2,500 名)

### 4. 協賛行事などについて

#### (1) 『LIGHT UP NIPPON スーパー縁日@気仙沼小学校』(8月11日)

東日本大震災の被災地 13カ所で花火を打ち上げる「LIGHT UP NIPPON」のメイン会場として、今年は気仙沼市が選ばれました。LIGHT UP NIPPON 実行委員会の主催により 8 月 11 日(土)の正午から午後 7 時まで、気仙沼小学校を会場として、有名アーティストやお笑い芸人によるステージ、協賛企業による展示ブースなどが設置され、中高生など若者を中心に多くの市民の方が LIGHT UP NIPPON スーパー縁日に訪れました。

## (2) 『南町紫市場夏祭り』

8月11日(土)は、復興商店街周辺の道路を歩行者天国として、市内の打ちばやし6団体による太鼓競演、特設ステージでのライブ、無料子供縁日が開催されました。

8月12日(日)は、SCK GIRLS 他が出演したガールズステージなどが行われました。

## (3) 『出店』

従来の設置場所である「海の道」付近を立ち入り禁止としたため、「出店」については、みなとまつり委員会総務部会として正式な取りまとめ等は実施しませんでした。

会場周辺所在の民家および事業所の敷地を出店希望者が個別に借り受けるなどの形式で出店が行われました。

8月12日の田中前大通り会場周辺の市道路肩への出店については、沿道敷地所有者のご了承をいただき、出店業者が個別に交通規制当局に対して手続きを行って、設置されたものでした。

## 5. みなとまつり期間中の天候

### ◇ 8月11日(土)

昼過ぎごろから下り坂の天候となり、午後4時前後にはやや強い雨が降りました。その後、「海上うんづら」の始まる午後6時30分までには雨は止んだものの、風がなく、薄く霧がかかったことで、打ち上げ花火には物足りなさの残る天候でした。

(最高気温 27度)

### ◇ 8月12日(日)

ほぼ一日中厚い雲に覆われた天候でした。高い降雨確率でしたので、途中の雨降りは避けられないものと思っておりました。それでもオープニングセレモニー、街頭パレード、はまらいんや踊り、いずれの行事の時も雨が降り出すことはなく、また、気温も例年よりは上がらなかったため、終わってみれば、参加者には優しい天候であったと思えました。

(最高気温 29度)

## 6. 人 出

まつり当日の人出は、8月11日(土)が15,000人、8月12日(日)が30,000人でした。

実施内容や日程が入れ替わったため、単純な比較はできませんが、第60回の人出は、初日(はまらいんや踊り)が28,000人、二日目(街頭パレード、花火大会)が118,000人でした。

## 7. シャトルバス

JR 気仙沼線が復旧していないことと、会場周辺の駐車スペースがないことなどからシャトルバスは、気仙沼市内バス会社 4 社に依頼し、8 月 11 日は6つのコースを、12 日は7つのコースを運行しました。

8 月 11 日（土）

- ①気仙沼高校・九条小学校・気仙沼向洋高校 ⇔ 旧七十七銀行気仙沼支店前
- ②松岩小学校 ⇔ 旧七十七銀行気仙沼支店前
- ③気仙沼西高校・条南中学校 ⇔ 旧七十七銀行気仙沼支店前
- ④唐桑ルート（中井小学校他 ⇔ 旧七十七銀行気仙沼支店前・煎餅坂）
- ⑤本吉ルート（小泉中学校他 ⇔ 旧七十七銀行気仙沼支店前・煎餅坂）
- ⑥一関ルート（千厩駅前他 ⇔ 旧七十七銀行気仙沼支店前・煎餅坂）

8 月 12 日（日）

- ①気仙沼高校・九条小学校・気仙沼向洋高校 ⇔ 市立病院入口
- ②松岩小学校 ⇔ 市立病院入口
- ③気仙沼小学校 ⇔ 市立病院入口
- ④気仙沼西高校 ⇔ 反松公園住宅前
- ⑤唐桑ルート（中井小学校他 ⇔ 市立病院入口
- ⑥本吉ルート（小泉中学校他 ⇔ 市立病院入口
- ⑦一関ルート（千厩駅前他 ⇔ 市立病院入口

延べ 13 のコースのなかでも 11 日（土）の①～③が多く利用されました。

## 8. 出 動（2日間の延べ人数・カッコ内は第60回での延べ人数）

気仙沼警察署	約210人	(162人)
気仙沼市交通指導隊	64人	(70人)
気仙沼市防犯実働隊	103人	(185人)
気仙沼海上保安署	10人	(18人)
気仙沼・本吉広域行政事務組合消防本部（予防課）	9人	(8人)
気仙沼消防署	31人	(26人)
気仙沼消防団	90人	(160人)
気仙沼市役所	約180人	(163人)
気仙沼市青少年支援センター	9人	(25人)
自主警備臨時職員	34人	(65人)
早稲田大学学生ボランティア	約100人	(-)
気仙沼商工会議所	約60人	(63人)
気仙沼地域開発	約40人	(-)
気仙沼復興協会	約40人	(-)
LIGHT UP NIPPON ボランティアツアー参加者	約20人	(-)

自主警備・警備艇	13人	(一)
警備会社	120人	(35人)
合 計	約1,133人	(980人)

## 9. 警備・交通規制

8月11日(土)は、午後6時～午後9時まで魚町出漁岸壁沿いの市道、港町臨港道路を車両進入禁止に、潮見町、朝日町、川口町の一帯を立ち入り禁止区域にしました。

港町から魚町までの岸壁については、危険区域として立ち入り禁止にするため、およそ1,600mにわたってバリケードを設置しました。

8月12日(日)は、午後2時～午後9時まで田中前大通りのモスバーガー付近交差点から朝日生命付近交差点までを車両進入禁止とし、一本北側の市道を東行き、一本南側を西行きの一方通行道路として設定して、交通混雑の緩和に努めました。

## 10. 事 故

まつりに係る遺失は7件、拾得物は12件、迷子は3人でした。まつりに関する人身事故並びに物損事故は、0件、酔っ払い保護も0件でした。

気仙沼海上保安署や気仙沼警察署はじめ警備に携って頂いた各団体の協力に感謝を申し上げます。

## 11. 清 掃

まつり会場内にゴミ箱を設置せず、まつり会場内にエコステーションを設置し、今年は学生ボランティアの呼びかけにより、来場の市民の皆様には分別の徹底やゴミの持ち帰りにご協力をいただきました。

会場周辺の清掃は8月12日(日)早朝に内湾地区および港町地区を、8月13日(月)早朝に田中前大通り周辺地区を下記の団体にご協力いただいて実施いたしました。

なお、今回、初めて会場に使用した田中前大通りにつきましては、普段から周辺の事業者様、住民の皆様が歩道の清掃や除草作業などを行っていただいていたため、ゴミの落ちていない、きれいな状態で開催本番を迎えることができました。

### 早朝清掃協力者

気仙沼シルバー人材センター、市民憲章(協)、(株)気仙沼商会 海友婦人会  
気仙沼市役所、気仙沼海友会、商工会議所、(株)小野良組、市婦連、清港会

## 12. そのほか

8月11日（土）の海上行事は、内湾岸壁に1隻の漁船が残されたままでの開始となりました。

今回の気仙沼みなとまつりに関連して、内湾海上（A 海域 19：00～21：30）と花火台船設置位置から半径250mの海上（B 海域 19：00～19：45）について航行禁止区域とされていました。

従来であれば、まつり前の時期に内湾岸壁へ係留しようとする漁船に対して、内湾以外の場所へ係留するように、魚町所在の漁業会社などの方々が呼びかける等、ご協力をいただいております。

しかし、震災後、こうした呼びかけを行っていた漁業会社等が復旧していないこと、岸壁の復旧工事によって係留場所が少なくなったこと、まつりの時期が従来の一週遅れとなりお盆の時期に近くなったこと、などが重なって、別の場所への移動ができないまま、内湾岸壁に漁船を残しての海上行事開始となりました。

2年ぶりの海上行事開催のため、従来通りの機能回復には至っておらず、関係者の方にご迷惑をかけることとなりました。